

**製品名: CIP29 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08817**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SARNP
別名	SARNP; HCC1; HSPC316; SAP domain-containing ribonucleoprotein; Cytokine-induced protein of 29 kDa; Nuclear protein Hcc-1; Proliferation-associated cytokine-inducible protein CIP29
遺伝子 ID	84324.0
SwissProt ID	P82979
免疫原	抗血清はヒト HCC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 147-196

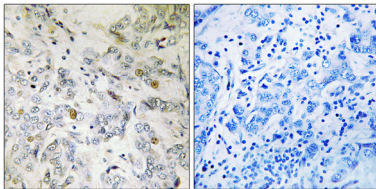
**背景**

この遺伝子は、様々なサイトカインに反応して発現が上昇するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、細胞周期の進行に関与している可能性があります。この遺伝子と骨髄性/リンパ性白血病遺伝子との間の転座によりキメラタンパク質が発現し、急性骨髄単球性白血病と関連付けられています。偽遺伝子は7番染色体と8番染色体上に存在します。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションも報告されています。[RefSeq 提供、2009年2月]、転写、転写制御、DNA依存性、翻訳制御、遺伝子発現の転写後制御、細胞タンパク質代謝プロセスの制御、転写制御、RNA代謝プロセスの制御

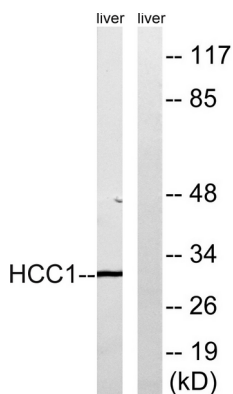
## 研究分野

-

## 画像データ



HCC1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HCC1抗体を用いたマウス肝臓ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。